

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団 きだ整形外科クリニック	代表者	木田泰弘	法人・ 事業所 の特徴	住み慣れた地域の中で自宅での自分らしい生活が送れるよう、心身の状況や置かれている環境等を踏まえ「通い」「訪問」「泊り」のサービスを組み合わせながら支援をしています。在宅での生活を継続するために利用者や家族の「小さな困りごと」に着目しながら支援させていただいています。手を出しすぎることがないように利用者一人一人のできること・持っている力を大切にし、利用者自らが様々な場面で力を発揮できるような環境づくりを行っています。通いの定員が9名と少人数であるため常にアットホームな雰囲気があり、人見知りをしやすい方もなじみやすく安心して過ごせる空間になっています。
事業所名	ケアミックスひまわり	管理者	福岡紀子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援C	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	人	人	1人	人	3人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 自己評価の確認	自己評価を行うことで、自分たちのケアの振り返りを継続し今まで通りケアの質の向上に努める。	毎日の出来事を SOAP の形式で記録に残している。ただ、利用者の言動 (S) や観察したこと (O)、対応 (P) についての記入は出来ているが、A の判断の部分については記録が不十分であり、スタッフ間での意識や認識についての共有ができていない。今後の課題と感じている。	具体的な取組みとして「SOAP」を意識して記録を書くようにしている。一歩踏み込んだ（考察した）観察が足りないと感じている。内容を意識しながらスタッフ同士で考えながら取組みを行っている。	スタッフ間での意識や認識が共有できるよう、SOAP 形式の記録を継続し、特に A の項目の記載は必ず行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	玄関の「自動ドア」の表記を「手動」に変更する。	玄関ドアに「手動」と表記した。（地域の方から）玄関のドアに「手動」と書いてあったから、立ち止まらずに入れたとの発言があった。	（鍵が夜間以外ではかかっていないことに対し）大通りがすぐだから、危ないね。にんにんカフェは相談しやすいけど、事業所には相談しづらい。事業所でも相談できることを宣伝したらどうか。（気になる）臭いはない。	来訪者を気持ちよく迎えられるよう、玄関の窓ふきや掃除を毎日行う。玄関前に置いてある古くなった傘立てを新調する。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の方にも参加していただけたようなイベントを企画した場合には、運営推進会議を通じてアナウンスをする。	水害想定避難訓練については、運営推進会議で事前に伝えることができたが、それ以外の行事等はアナウンスできていない。	町の文化展に今年も出展し、準備等で町の方に関わってもらえば、事業所を知ってもらう機会になるのではないかと。地域の方のことを相談できる場所には、なっていない。	半年に一度行っている事業所内での体力測定開催時期を町内の方にお知らせする。
D. 地域に出向いて本人の暮らしをささえる取組み	利用者それぞれのエコマップを作成し、まずは利用者自身の持つ「つながり」を把握する。	未達成だが取組みは実施している。利用者との会話で利用者の取り巻く環境、人など確認しエコマップを作成しているが、なかなか地域の人まではあがってこない。	会議に地域の方を呼んで…とあるが、言われる方も大変ではないか。町の行事には参加している。	現在作成しているエコマップの中に、2つ以上のつながりが追加できるよう情報収集する。エコマップに情報を追加した日付を記入する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	地域の方にも参加していただけたようなイベントを企画した場合には、運営推進会議を通じてアナウンスをする。	水害想定避難訓練については、運営推進会議で事前に伝えることができたが、それ以外の行事等はアナウンスできていない。	地域の方の事例検討を運営推進会議の中で行うのは個人情報の取り扱いもあるので難しい。地域での取組みに関しては、なるべく情報をいただき一緒に取り組む方向に行ければいいと思う。	半年に一度行っている事業所内での体力測定開催時期を町内の方にお知らせする。
F. 事業所の防災・災害対策	法人内の危機管理委員会と協力して備蓄品の管理・補充等を確実にし、全スタッフで周知する。	事業所では賞味期限が3年ある特注のカロリーメイトを準備している。賞味期限が切れる前におやつとして利用し、新しい商品と交換している。	先日の防災訓練で、久しぶりにお寺で知り合いの方と顔を合わせた利用者がいた。隣の家とは挨拶のみで、地域のがんがりが薄くなってきている。便利な世の中になりつながりが減っている。隣近所がつながっていけば、地域を見守る人が増え、民生委員も把握しやすくなる。	備蓄品の管理、補充等は継続して確認し、全スタッフで周知する。地域の防災訓練等に積極的に参加する。